

# 第1学年 講演会

## 「新聞から学ぶ」～伝えるための技と工夫～

### ネット時代に生きる皆さんへ

11月12日（金）14：40～16：00、PTAの支援を受けて、本校体育館で「生き方講演会」を実施いたしました。講師は、株式会社 埼玉県新聞社 編集管理幹 吉田俊一 氏で、以下のようなお話をされました。

#### 《講演内容》

情報社会の落とし穴ということについては、情報にもいろいろあり、信頼されているメディアとして「新聞」があげられる。新聞を読んで付ける力は「だまされない力」である。新聞を読んで、フェイクを見分け、ファクトを知ることである。

新聞が信頼されるのは、しっかりとした「取材」をもとに記事を書いているからである。新聞社は、「職種のデパート」と言われ、たくさんの業種がかかわっていて、決して新聞記者だけで作っているわけではない。

記事にするとき、伝えるための工夫と技は3つある。

その1・メリハリのあるレイアウト、その2・見出しは主語と述語で書く、その3・最初に結論を書き、第一段階で言い切る、説明は後から付ける、短く切れるように、関心を誘う、わかりやすい、伝わりやすい文章で書く。

次から次へと起こる事件に対して、日頃から、地元新聞の記者として、徹底的に取材していくことをこころがけている。

